
令和6年度特許出願動向調査
－マクロ調査－
GXTI編

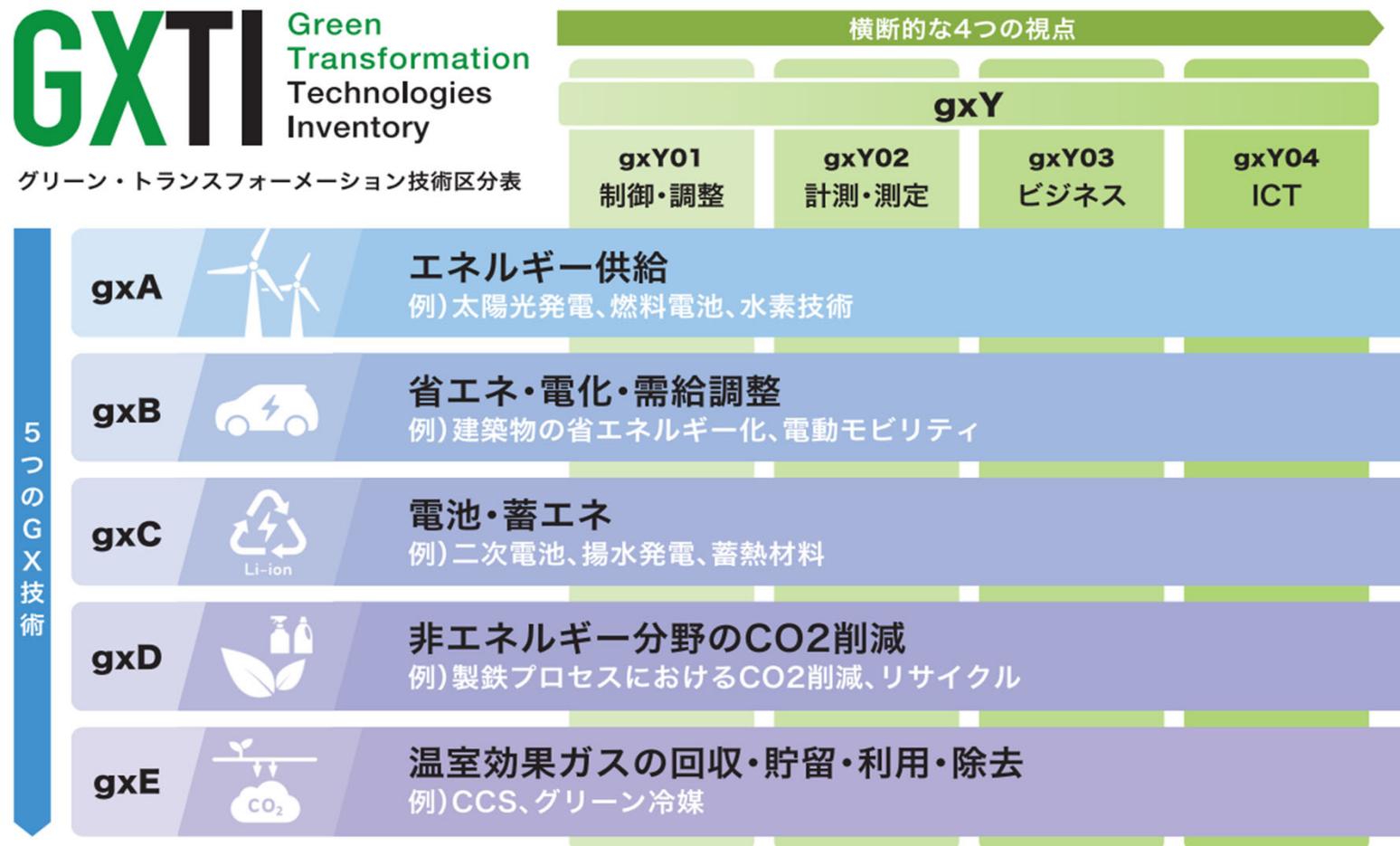
令和7年3月

目次

1. 調査概要	P. 2
2. 調査・解析方法	P. 3
3. GX技術全体の動向調査	P. 4
4. GXTI上の大区分別の動向調査	P. 6
5. GXTI上の中区分別の動向調査	P. 8
6. GXTI上のgxY(横断軸)区分別の動向調査	P. 16
7. まとめ	P. 18

1. 調査概要: GX技術区分表(GXTI)と本調査の範囲

- GXTI全体、GXTI上の大区分(gxA~gxE)、中区分(32区分)、横断的な視点(gxY、gxY01~gxY04)の特許出願動向を調査



2. 調査・解析方法

- 調査期間 2014～2022年（優先権主張年ベース）
- 調査対象 特許出願ファミリー件数、IPF件数※（DWPIファミリーを利用）
- 特許DB Derwent™ Innovation
- 調査対象国

【GX技術全体、GXTI上の大区分、GXTI上の中区分】

日本、米国、欧州、ドイツ、フランス、英国、中国、台湾、韓国、カナダ、インド、ASEAN、オーストラリア及びPCT出願

【横断的な視点(gxY01～gxY04)】

日本、米国、欧州、中国、韓国及びPCT出願

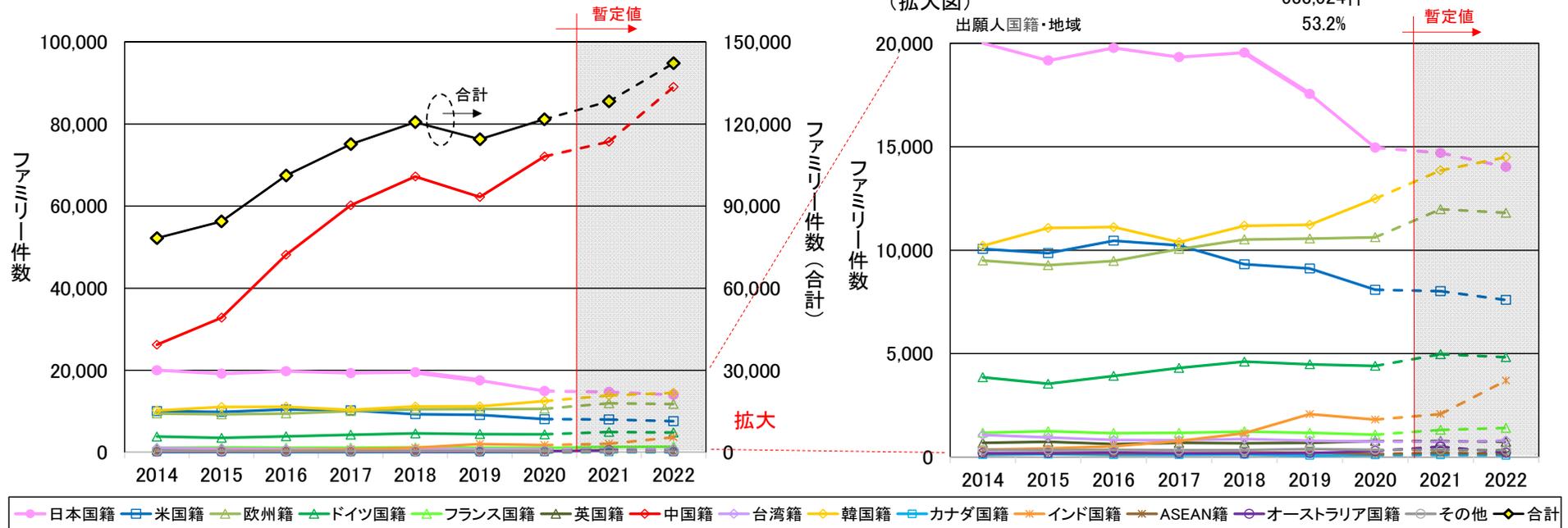
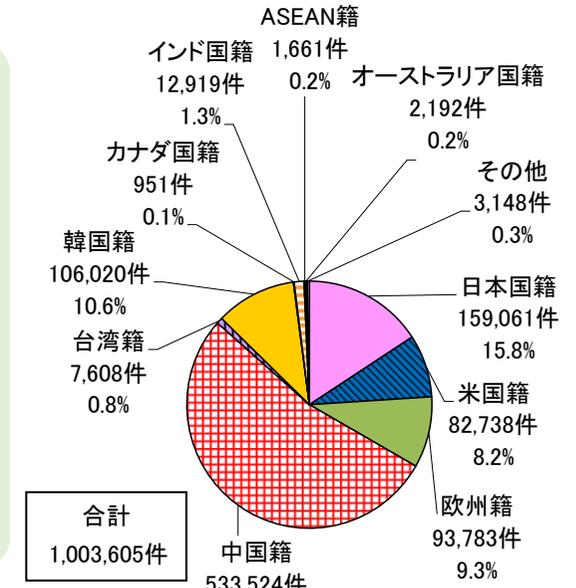
- 調査実施日 2024年11月1日～2024年12月9日

※ IPF: International Patent Familyの略で、複数(2以上)の国・地域への出願を含む特許出願ファミリー又は欧州特許庁への出願若しくはPCT出願を含む特許出願ファミリー

3. GX技術全体の動向調査

出願人国籍・地域別のパテントファミリー件数年次推移

- 2014～2022年の調査対象国・地域への特許出願ファミリー件数は約100万件で増加傾向
- **中国籍が約53万件と最も多く**、次いで、日本国籍、韓国籍、欧州籍、米国籍の順に多い。
- **中国籍は顕著に増加**、韓国籍、インド籍も増加傾向で、欧州もやや増加傾向
- 日本国籍は、**2018年以降大きく減少**
- 米国籍も2016年以降**やや減少傾向**

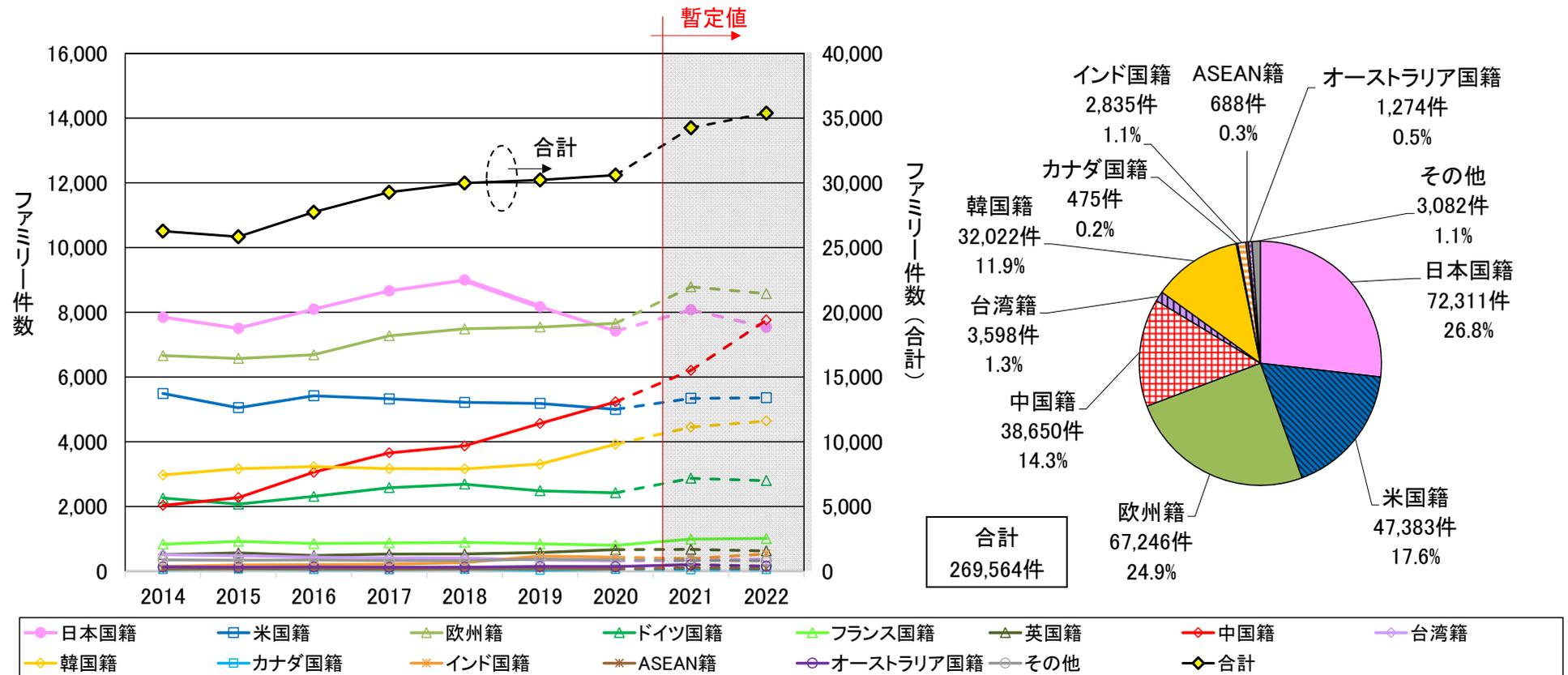


特許データ: Derwent™ Innovation

注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。そのため2021年以降は点線で表示している。

3. GX技術全体の動向調査 出願人国籍・地域別のIPF件数年次推移

- 2014～2022年の調査対象国・地域へのIPF件数は約27万件で増加傾向
- 日本国籍が約7万件と最も多く、次いで、欧州籍、米国籍、中国籍、韓国籍の順
- 日本国籍は2018年まで増加したが、その後、減少傾向
- 米国籍はほぼ横ばい傾向で、中国籍及び韓国籍は増加傾向



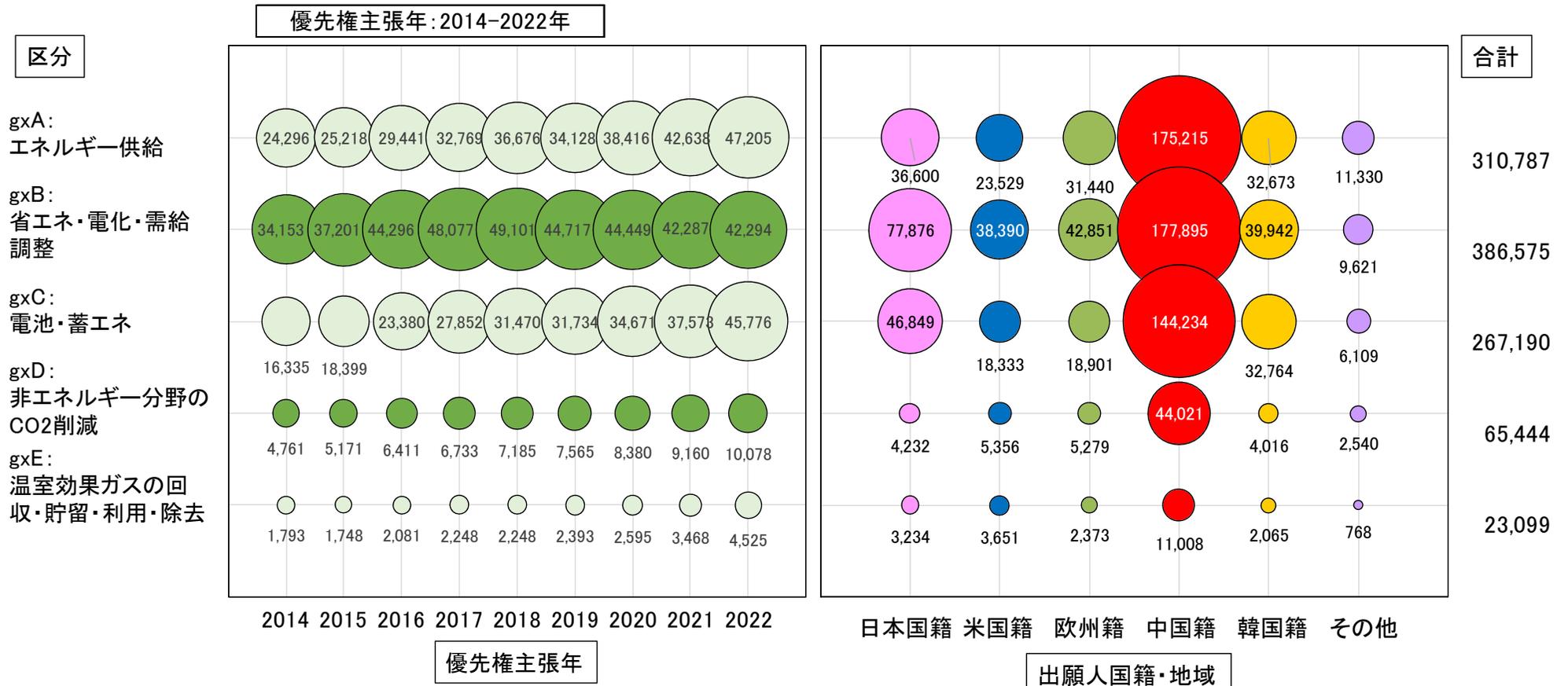
特許データ: Derwent™ Innovation

注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。そのため2021年以降は点線で表示している。

4. GXTI上の大区分別の動向調査

大区分別ファミリー件数推移と出願人国籍・地域別ファミリー件数

- 大区分別ファミリー件数合計では、「gxB:省エネ・電化・需給調整」が約39万件で最も多く、次いで、「gxA:エネルギー供給」「gxC:電池・蓄エネ」の順
- 中国籍が全ての大区分のファミリー件数で最も多い。
- 日本国籍は、「gxA:エネルギー供給」「gxB:省エネ・電化・需給調整」「gxC:電池・蓄エネ」で2番目に多い。



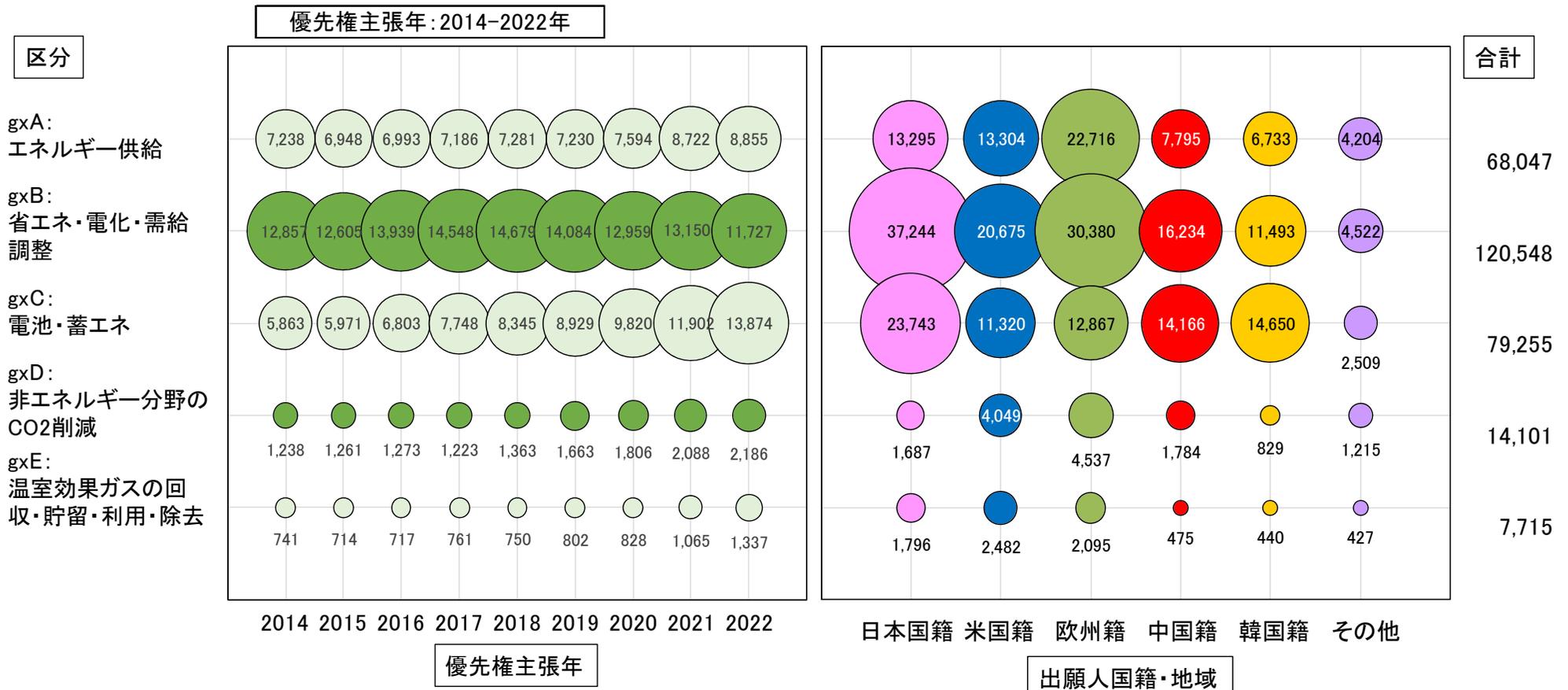
特許データ: Derwent™ Innovation

注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

4. GXTI上の大区分別の動向調査

大区分別IPF件数推移と出願人国籍・地域別ファミリー件数

- 大区分別IPF件数合計では、「gxB:省エネ・電化・需給調整」が約12万件で最も多く、次いで、「gxC:電池・蓄エネ」「gxA:エネルギー供給」の順
- 日本国籍は「gxB:省エネ・電化・需給調整」「gxC:電池・蓄エネ」で最も多い。
- 欧州籍は「gxA:エネルギー供給」「gxD:非エネルギー分野のCO2削減」で最も多く、米国籍は「gxE:温室効果ガスの回収・貯留・利用・除去」で最も多い。



特許データ: Derwent™ Innovation

注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別ファミリー件数年次推移（優先権主張年 2014年～2022年） 1/2

- 「gxc01:二次電池」が最も多い。
- 次いで、「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH 等)」、「gxA01:太陽光発電」、「gxB05:電動モビリティ」、「gxA09:燃料電池」の順である。

大区分	中区分		年次推移									合計
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
エネルギー供給	gxA01	太陽光発電	8,334	8,860	10,812	12,689	14,235	11,583	13,087	13,624	14,788	108,012
	gxA02	太陽熱利用	1,397	1,550	2,011	2,659	3,428	2,695	3,288	2,818	3,427	23,273
	gxA03	風力発電	3,250	3,185	3,781	4,415	4,652	4,376	5,425	6,344	6,465	41,893
	gxA04	地熱利用	76	100	178	356	437	410	500	569	497	3,123
	gxA05	水力発電	1,273	1,448	1,580	1,698	1,809	1,584	1,989	2,090	1,976	15,447
	gxA06	海洋エネルギー発電	830	739	839	800	884	777	996	944	926	7,735
	gxA07	バイオマス	1,758	2,056	2,188	2,143	2,232	1,900	1,827	1,720	1,676	17,500
	gxA08	原子力発電	1,557	1,490	1,551	1,691	1,696	1,845	2,111	2,100	2,358	16,399
	gxA09	燃料電池	4,690	4,871	5,587	5,652	6,607	7,164	7,635	8,878	10,158	61,242
	gxA10	水素技術	2,334	2,469	2,852	2,962	3,666	4,136	4,709	6,615	8,456	38,199
	gxA11	アンモニア技術	315	298	338	421	454	501	688	972	1,233	5,220

注:本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

特許データ:Derwent™ Innovation

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別ファミリー件数年次推移（優先権主張年 2014年～2022年） 2/2

大区分	中区分											合計
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
省エネ・電化・需給調整	gxB01	建築物の省エネルギー化 (ZEB・ZEH等)	20,221	22,339	26,345	27,818	25,997	21,913	20,680	18,042	17,166	200,521
	gxB02	高効率モータ・インバータ	1,466	1,417	1,760	1,822	2,024	2,052	2,366	2,504	2,663	18,074
	gxB03	コージェネレーション	911	905	963	978	1,007	860	811	798	791	8,024
	gxB04	水・廃水・下水または汚泥の処理における省エネ・需給調整	845	948	1,288	1,623	2,027	1,733	1,892	1,704	1,645	13,705
	gxB05	電動モビリティ	5,418	5,877	7,522	9,173	11,015	11,066	10,903	11,350	11,798	84,122
	gxB06	熱の電化	3,159	3,903	4,791	4,799	5,040	4,765	4,972	4,653	4,403	40,485
	gxB07	送配電・スマートグリッド	2,671	2,375	2,269	2,615	2,755	3,056	3,509	3,882	4,503	27,635
	gxB08	電力システムの需給調整	1	2	5	11	9	30	26	47	64	195
電池・蓄エネ	gxC01	二次電池	14,115	15,861	19,913	24,294	27,638	27,766	30,887	33,708	41,387	235,569
	gxC02	力学的エネルギー貯蔵	105	91	127	170	196	178	190	356	523	1,936
	gxC03	熱エネルギー貯蔵	1,118	1,202	1,552	1,724	1,859	2,079	2,144	2,080	2,424	16,182
	gxC04	電気二重層キャパシタ・ハイブリッドキャパシタ	1,887	2,134	2,769	2,744	2,850	2,710	2,261	2,220	2,203	21,778
分野別の削減CO2	gxD01	バイオマスからの化学品製造	3,601	3,885	4,548	4,485	4,820	5,029	5,160	5,685	6,445	43,658
	gxD02	製鉄プロセスにおけるCO2削減	202	183	327	406	204	288	307	417	454	2,788
	gxD03	リサイクル	978	1,120	1,557	1,869	2,200	2,298	2,970	3,124	3,255	19,371
用・留・除・去	gxE01	温室効果ガス削減	1,562	1,557	1,837	1,962	2,002	2,113	2,368	3,216	4,259	20,876
	gxE02	非CO2温室効果ガス対策	237	194	252	288	252	287	228	257	274	2,269
クロス集計	gXY01	GXTI×制御・調整関連技術	1,166	1,163	1,479	1,714	1,674	1,543	1,543	1,258	1,230	12,770
	gXY02	GXTI×計測・測定関連技術	2,848	3,089	3,793	4,183	4,634	4,894	5,627	5,586	6,437	41,091
	gXY03	GXTI×ビジネス関連技術(認証・決済含む)	485	551	655	840	1,019	1,272	1,482	1,806	2,504	10,614
	gXY04	GXTI×ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)	11,587	11,541	12,739	12,971	14,081	13,152	12,344	12,305	12,257	112,977

注:本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別出願人国籍・地域別ファミリー件数 1/2

- 中区分のファミリー件数では、「gxCO1:二次電池」が最も多く、次いで、「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH等)」「gxAO1:太陽光発電」の順が多い。
- 中国籍は、全ての中区分においてファミリー件数が最も多い。
- 日本国籍は、12区分のファミリー件数が2番目に多く、特に、「gxCO1:二次電池」「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH等)」が多い。

大区分	中区分	出願人国籍・地域						合計
		日本国籍	米国籍	欧州籍	中国籍	韓国籍	その他	
エネルギー供給	gxAO1 太陽光発電	10,378	8,225	5,642	66,836	13,194	3,737	108,012
	gxAO2 太陽熱利用	601	1,772	2,135	16,387	804	1,574	23,273
	gxAO3 風力発電	1,857	2,929	8,332	23,890	2,751	2,134	41,893
	gxAO4 地熱利用	274	307	317	1,790	352	83	3,123
	gxAO5 水力発電	1,060	892	1,427	9,999	1,312	757	15,447
	gxAO6 海洋エネルギー発電	413	556	893	4,641	729	503	7,735
	gxAO7 バイオマス	1,075	1,346	1,651	11,150	1,489	789	17,500
	gxAO8 原子力発電	2,356	1,671	1,106	8,468	2,359	439	16,399
	gxAO9 燃料電池	15,020	4,530	7,203	25,125	7,728	1,636	61,242
	gxAO10 水素技術	5,594	3,716	4,956	19,174	3,676	1,083	38,199
	gxAO11 アンモニア技術	602	445	610	2,922	515	126	5,220

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別出願人国籍・地域別ファミリー件数 2/2

大区分	中区分	出願人国籍・地域						合計
		日本国籍	米国籍	欧州籍	中国籍	韓国籍	その他	
省エネ・電化・需給調整	gxBO1 建築物の省エネルギー化 (ZEB・ZEH等)	42,790	19,332	14,293	97,463	21,577	5,066	200,521
	gxBO2 高効率モータ・インバータ	3,228	1,640	2,586	8,907	1,255	458	18,074
	gxBO3 コージェネレーション	1,131	546	958	4,472	784	133	8,024
	gxBO4 水・廃水・下水または汚泥の処理における省エネ・需給調整	164	214	185	12,641	273	228	13,705
	gxBO5 電動モビリティ	20,977	9,270	16,715	27,413	7,600	2,147	84,122
	gxBO6 熱の電化	6,948	4,762	6,489	14,043	7,275	968	40,485
	gxBO7 送配電・スマートグリッド	3,950	3,443	2,826	14,709	1,919	788	27,635
	gxBO8 電力システムの需給調整	44	5	1	126	15	4	195
電池・蓄エネ	gxC01 二次電池	42,947	16,575	16,611	123,718	30,607	5,111	235,569
	gxC02 力学的エネルギー貯蔵	141	167	195	1,230	114	89	1,936
	gxC03 熱エネルギー貯蔵	1,585	1,035	1,782	10,290	944	546	16,182
	gxC04 電気二重層キャパシタ・ハイブリッドキャパシタ	7,350	1,422	806	10,156	1,520	524	21,778
CO2削減の分野	gxDO1 バイオマスからの化学品製造	2,515	3,740	2,922	31,233	1,709	1,539	43,658
	gxDO2 製鉄プロセスにおけるCO2削減	224	119	217	1,873	189	166	2,788
	gxDO3 リサイクル	1,516	1,551	2,176	11,145	2,132	851	19,371
温室効果ガスの回収・貯留	gxEO1 CCS・CCUS・ネガティブエミッション	2,602	3,198	2,121	10,372	1,940	643	20,876
	gxEO2 非CO2温室効果ガス対策	643	463	260	648	127	128	2,269
クロス集計	gxYO1 GXTI×制御・調整関連技術	1,972	3,525	1,698	3,629	1,141	805	12,770
	gxYO2 GXTI×計測・測定関連技術	8,299	5,810	5,474	12,251	7,382	1,875	41,091
	gxYO3 GXTI×ビジネス関連技術(認証・決済含む)	1,798	1,059	456	4,528	2,073	700	10,614
	gxYO4 GXTI×ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)	29,050	14,722	8,809	38,918	15,138	6,340	112,977

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別IPF件数年次推移（優先権主張年 2014年～2022年） 1/2

- 「gxC01:二次電池」が最も多い。
- 次いで「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH等)」「gxB05:電動モビリティ」「gxA01:太陽光発電」「gxA09:燃料電池」の順である。

大区分	中区分		年次推移									合計
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
エネルギー供給	gxA01	太陽光発電	2,328	2,361	2,228	2,196	2,171	2,023	1,967	2,043	1,933	19,250
	gxA02	太陽熱利用	400	402	362	420	419	386	425	428	467	3,709
	gxA03	風力発電	1,118	1,012	1,138	1,343	1,327	1,320	1,273	1,347	1,214	11,092
	gxA04	地熱利用	24	35	43	72	64	61	65	115	84	563
	gxA05	水力発電	265	304	266	263	269	256	211	236	233	2,303
	gxA06	海洋エネルギー発電	204	198	171	178	152	142	149	163	152	1,509
	gxA07	バイオマス	445	406	330	338	301	347	351	353	357	3,228
	gxA08	原子力発電	438	402	354	386	338	368	379	372	392	3,429
	gxA09	燃料電池	1,617	1,513	1,727	1,665	1,909	1,909	2,078	2,445	2,488	17,351
	gxA10	水素技術	868	857	918	864	925	1,036	1,331	1,955	2,270	11,024
	gxA11	アンモニア技術	108	100	97	130	113	140	151	257	279	1,375

注:本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

特許データ:Derwent™ Innovation

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別IPF件数年次推移（優先権主張年 2014年～2022年） 2/2

大区分	中区分		年次推移									合計
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
省エネ・電化・需給調整	gxB01	建築物の省エネルギー化 (ZEB・ZEH等)	7,041	6,941	7,438	7,426	6,900	6,358	5,451	5,155	4,321	57,031
	gxB02	高効率モータ・インバータ	647	591	645	687	763	777	783	827	806	6,526
	gxB03	コージェネレーション	262	263	240	215	163	155	114	105	83	1,600
	gxB04	水・廃水・下水または汚泥の処理における省エネ・需給調整	55	58	60	74	63	95	100	92	79	676
	gxB05	電動モビリティ	2,492	2,529	3,304	3,773	4,466	4,424	4,110	4,641	4,484	34,223
	gxB06	熱の電化	1,280	1,425	1,679	1,739	1,862	1,814	1,856	1,804	1,438	14,897
	gxB07	送配電・スマートグリッド	1,346	1,034	880	956	819	821	844	833	799	8,332
	gxB08	電力システムの需給調整	0	0	0	0	0	4	2	5	9	20
電池・蓄エネ	gxC01	二次電池	5,276	5,374	6,125	7,107	7,818	8,345	9,232	11,272	13,300	73,849
	gxC02	力学的エネルギー貯蔵	37	44	44	54	45	40	38	52	55	409
	gxC03	熱エネルギー貯蔵	376	354	392	357	328	379	350	370	324	3,230
	gxC04	電気二重層キャパシタ・ハイブリッドキャパシタ	648	649	726	737	649	662	667	711	593	6,042
分野の削減CO2	gxD01	バイオマスからの化学品製造	951	976	929	913	1,025	1,055	1,056	1,139	1,094	9,138
	gxD02	製鉄プロセスにおけるCO2削減	42	53	59	45	38	73	68	126	134	638
	gxD03	リサイクル	254	237	289	274	311	552	702	854	980	4,453
用・留取・除利貯去	gxE01	温室効果ガスの削減	614	591	592	605	614	641	699	949	1,216	6,521
	gxE02	非CO2温室効果ガス対策	129	125	130	156	138	163	130	119	123	1,213
クロス集計	gxY01	GXTI×制御・調整関連技術	779	721	838	870	891	830	643	589	465	6,626
	gxY02	GXTI×計測・測定関連技術	1,636	1,628	1,862	2,021	2,237	2,203	2,168	2,253	2,141	18,149
	gxY03	GXTI×ビジネス関連技術(認証・決済含む)	190	209	219	301	328	405	365	361	393	2,771
	gxY04	GXTI×ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)	6,115	5,869	6,090	6,228	6,391	5,844	4,841	4,552	3,353	49,283

注:本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

5. GXTI上の中区分別の動向調査

中区分別出願人国籍・地域別IPF件数 1/2

- 中区分のIPF件数では、「gxCO1:二次電池」の件数が最も多く、次いで、「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH等)」「gxB05:電動モビリティ」の順が多い。
- 日本国籍は、8区分のIPF件数が最も多く、特に、「gxCO1:二次電池」「gxB01:建築物の省エネルギー化(ZEB・ZEH等)」が多い。
- 欧州籍は15区分、米国籍は4区分、中国籍は1区分のIPF件数が最も多い。

大区分	中区分	出願人国籍・地域						合計
		日本国籍	米国籍	欧州籍	中国籍	韓国籍	その他	
エネルギー供給	gxA01 太陽光発電	4,177	3,764	4,214	3,537	2,262	1,296	19,250
	gxA02 太陽熱利用	255	892	1,449	546	112	455	3,709
	gxA03 風力発電	754	1,666	6,517	1,138	350	667	11,092
	gxA04 地熱利用	50	202	200	52	18	41	563
	gxA05 水力発電	251	462	784	325	181	300	2,303
	gxA06 海洋エネルギー発電	90	288	551	254	128	198	1,509
	gxA07 バイオマス	309	915	1,216	277	208	303	3,228
	gxA08 原子力発電	432	1,064	835	453	355	290	3,429
	gxA09 燃料電池	5,475	2,954	4,713	1,054	2,558	597	17,351
	gxA10 水素技術	2,237	2,490	4,004	732	937	624	11,024
	gxA11 アンモニア技術	308	315	531	92	60	69	1,375

5. GXTI上の中区分別の動向調査

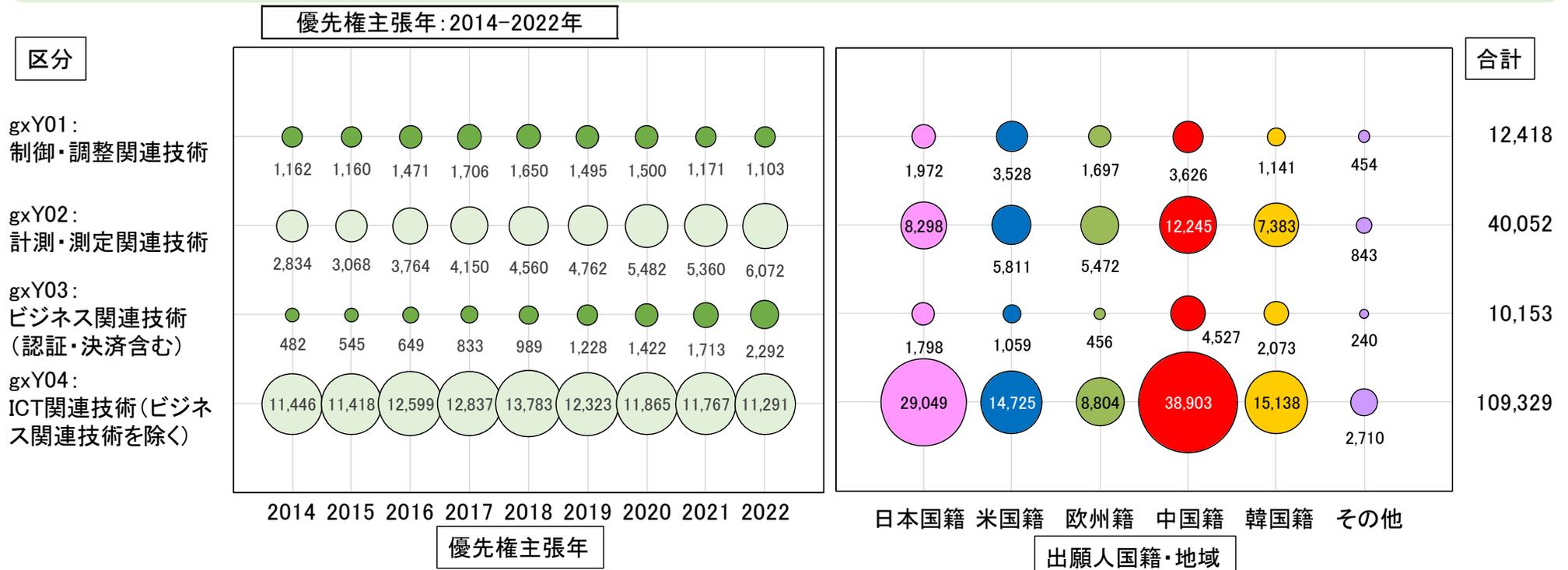
中区分別出願人国籍・地域別IPF件数 2/2

大区分	中区分	出願人国籍・地域						合計
		日本国籍	米国籍	欧州籍	中国籍	韓国籍	その他	
省エネ・電化・需給調整	gxB01 建築物の省エネルギー化 (ZEB・ZEH等)	19,944	8,573	11,069	9,536	5,447	2,462	57,031
	gxB02 高効率モータ・インバータ	1,963	1,098	1,876	911	442	236	6,526
	gxB03 コージェネレーション	313	341	621	135	129	61	1,600
	gxB04 水・廃水・下水または汚泥の処理における省エネ・需給調整	42	100	141	276	37	80	676
	gxB05 電動モビリティ	10,633	6,290	10,236	2,946	3,210	908	34,223
	gxB06 熱の電化	3,060	2,718	5,201	1,621	1,810	487	14,897
	gxB07 送配電・スマートグリッド	1,910	2,146	2,185	1,041	666	384	8,332
	gxB08 電力システムの需給調整	12	1	1	3	3	0	20
電池・蓄エネ	gxCO1 二次電池	22,366	10,325	11,216	13,492	14,280	2,170	73,849
	gxCO2 力学的エネルギー貯蔵	52	103	143	55	17	39	409
	gxCO3 熱エネルギー貯蔵	623	609	1,290	374	150	184	3,230
	gxCO4 電気二重層キャパシタ・ハイブリッドキャパシタ	3,287	936	670	494	445	210	6,042
CO2削減の分野	gxDO1 バイオマスからの化学品製造	1,034	2,883	2,577	1,410	504	730	9,138
	gxDO2 製鉄プロセスにおけるCO2削減	120	88	203	77	58	92	638
	gxDO3 リサイクル	552	1,124	1,791	313	272	401	4,453
温室効果ガスの回収・貯留	gxEO1 CCS・CCUS・ネガティブエミッション	1,289	2,132	1,877	433	413	377	6,521
	gxEO2 非CO2温室効果ガス対策	511	355	226	43	27	51	1,213
クロス集計	gxYO1 GXTI×制御・調整関連技術	1,422	2,104	1,490	653	508	449	6,626
	gxYO2 GXTI×計測・測定関連技術	4,699	3,958	4,382	1,703	2,570	837	18,149
	gxYO3 GXTI×ビジネス関連技術(認証・決済含む)	884	667	386	244	351	239	2,771
	gxYO4 GXTI×ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)	17,837	8,970	7,583	6,010	6,194	2,689	49,283

6. GXTI上のgxY(横断軸)区分別の動向調査

gxY区分別全体のファミリー件数推移と出願人国籍・地域別ファミリー件数

- 区分別ファミリー件数合計では、「gxY04:ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)」が約11万件で桁違いに多いが、減少傾向
- 「gxY03:ビジネス関連技術(認証・決済含む)」「gxY02:計測・測定関連技術」は、増加傾向
- 中国籍が全ての区分のファミリー件数で最も多い
- 日本国籍は、「gxY04:ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)」「gxY02:計測・測定関連技術」で2番目に多い。



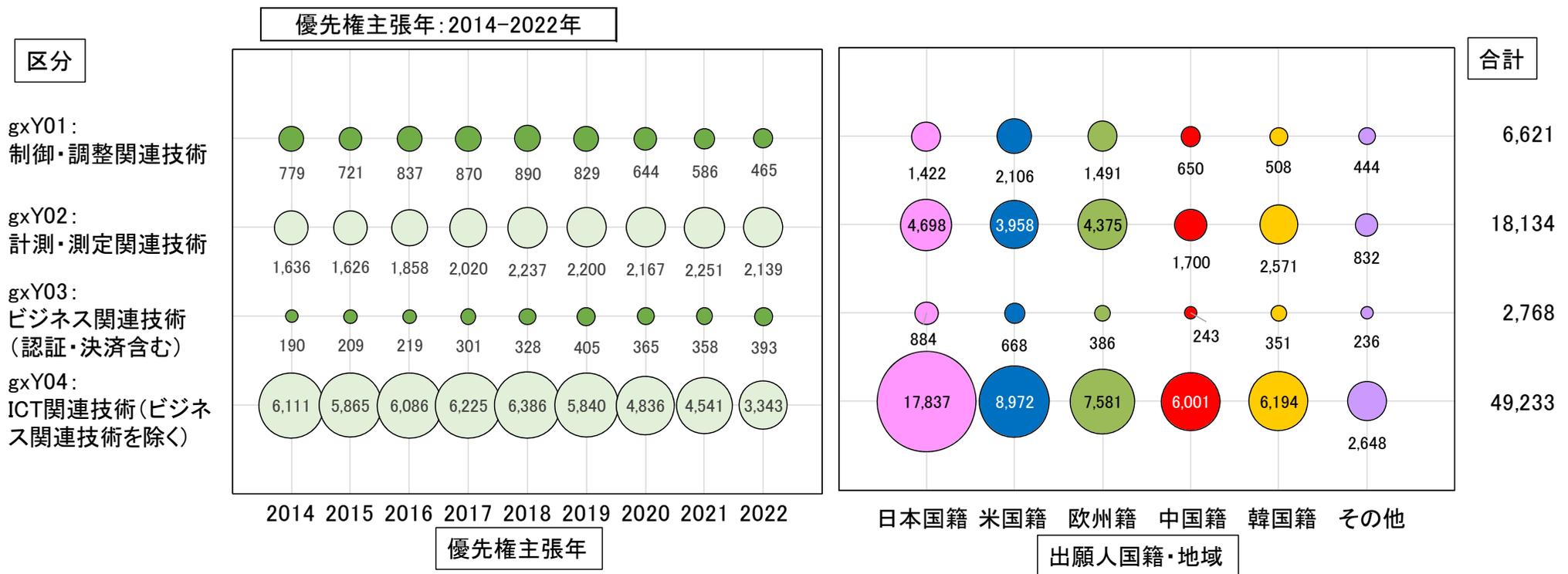
特許データ: Derwent™ Innovation

注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

6. GXTI上のgxY(横断軸)区分別の動向調査

gxY区分別全体のIPF件数推移と出願人国籍・地域別IPF件数

- 区分別IPF件数合計では、「gxY04:ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)」が約5万件で最も多いが、減少傾向
- 「gxY03:ビジネス関連技術(認証・決済含む)」は増加傾向、「gxY02:計測・測定関連技術」は横ばい、「gxY01:制御・調整関連技術」は減少傾向
- 日本国籍は、「gxY04:ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)」「gxY02:計測・測定関連技術」「gxY03:ビジネス関連技術(認証・決済含む)」で最も多い。
- 米国籍は、「gxY01:制御・調整関連技術」で最も多い。



注: 本調査の実施時、Derwent™ Innovationにおいて優先権主張年2021年以降の収録データが十分でない可能性があるため注意が必要である。

7. まとめ

- 2014～2022年の調査対象国・地域へのGX技術全体の特許出願ファミリー一件数は約100万件で、そのうち、中国籍が約53万件と最も多く、次いで、日本国籍、韓国籍、欧州籍、米国籍の順に多い。
- GX技術全体のIPF件数は約27万件で、そのうち、日本国籍が約7万件と最も多く、次いで、欧州籍、米国籍、中国籍、韓国籍の順である。
- 大区分別ファミリー一件数合計では、「gxB:省エネ・電化・需給調整」が約39万件で最も多く、IPF件数も同様である。
- GXTI上のgxY(横断軸)区分別ファミリー一件数合計では、「gxY04:ICT関連技術(ビジネス関連技術を除く)」が約11万件で最も多く、IPF件数も同様である。